



### 島原城



### 四明荘

湧水を利用した庭園「四明荘」は国の登録有形文化財に指定されている。



五層天守閣を中心に、要所に大小の櫓を配した安土桃山期の築城様式を取り入れた壮麗な城だったといわれる島原城。2024年には築城400年を迎える。

天守閣からの眺望

**島** 原は、江戸時代に松平七万石の城下町として栄えた歴史をもち、まちには島原城がそびえ立つ。城は松倉豊後守重政によって、一六一八年から七年もの歳月を費やして築かれた。一八七四年に廃城になったものの、一九六四年に天守閣が復元し、現在は優美な姿で私たちの目を楽ませてくれる。青空の下、天に向かって真っすぐに伸びる白亜の城はまちのシンボルとなっている。

城内では貴重なキリシタン史料や民具資料などを見学できるが、圧巻はなんといっても天守閣からの眺望。市街地はもちろんだ、地元の人に愛される眉山、海の間こうには熊本の本山々々と、三百六十度の大パノラマを満喫することができる。また城下には下級武士たちが住んだ茅葺き屋根の武家屋敷も残されており、石垣が続く武家屋敷通りは往時を彷彿とさせる。

島原は「水の都」としても知られている。雲仙山系の伏流水が市内のいたるところから湧き出し、島原湧水群として全国名水百選に選定されている。市内には六十カ所を超える湧水地があるが、特に石造りの水路が続き、「鯉の泳ぐまち」として親しまれている新町一帯は風情たっぷり。

まち歩きに疲れたら湧水庭園「四明荘」へ。四方の眺望に優れていることから名付けられたというだけあって、建物から見る庭の風景は見事。昭和初期に禅僧を招いて造られたといわれる庭には、一日三千トンもの湧水が流れるという大きな池が広がり、色とりどりの錦鯉が気持ち良さそうに泳いでいる。運ばれてきた冷茶はまるやかで美味。湧水だからこそその味わいに深く感じ入った。



### 浜の川湧水

### 武家屋敷通り



自然の恵みを体感

# 島原市

市内では「しまばら重ね捺しスタンプラリー」が行われている。それぞれのポイントでスタンプを押すと島原城の絵が完成するというもので、まち歩きを一層楽しくしてくれる。

